

園子甲子園 2年ぶり 新作

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座00350-0-407
©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179
(受付・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売局 028-625-1120
広告局 028-625-1133
事業局 028-625-1134

下野新聞社ホームページ
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

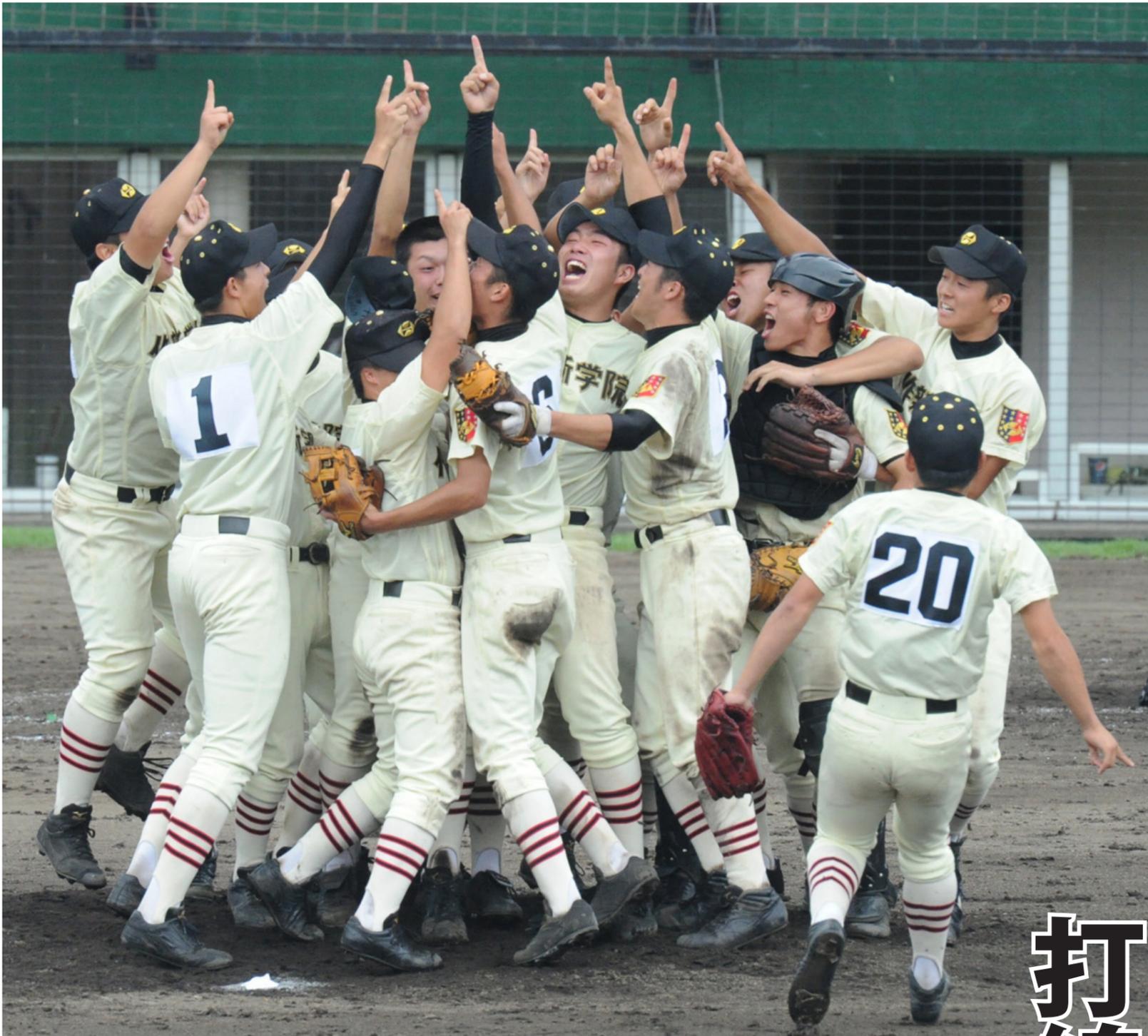
電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

栃木のニュースを携帯でも!!

下野新聞
SOON
月額262円

下野新聞 検索



優勝を決め、喜ぶ作新ナイン。県営球場

打線爆発17点大勝

宇商、88年ぶりの夢散る



第93回全国高校野球選手権栃木大会最終日は31日、県営球場で作新―宇商の決勝を行い、作新が17―5で大勝し、2年ぶり7度目の夏の甲子園出場を決めた。

名門対古豪の宇都宮勢同士の頂上決戦は、名門が中盤以降の大量得点で制した。作新は三回1死から右井一成が右翼芝生席に大会第13号となるソロ本塁打をたたき込み1点を先制した。四回には内藤諒太、鶴田剛也の連続適時二塁打など4連打で3点を追加。五回にも飯野徹也の中前適時打、山下勇斗の中越え2点

三塁打、内藤の中前適時打で4点を挙げ突き放した。その後も攻撃の手を緩めず七、八、九回にも加点した。宇商は中盤まで得点することはできなかつたが七回、高井和馬の右前適時打、斎藤佑哉の右越え満塁本塁打で5点を返した。その後も堅守で失点を防ぐなど粘りをみせたが、作新の勢いを止めることはできず、88年ぶりの頂点はならなかつた。

甲子園大会の組み合わせ抽選会は8月3日に行われ、6日に開会式を行い開幕する。

小針崇弘監督の話 選手が気持を切らさず、挑戦者の気持ちでよく戦ってくれた。無欲の優勝。

板崎直人主将の話 みんなでつかみ取った優勝ですごくうれしい。甲子園では感動を与えられるよう全力で戦う。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
作新	0	0	1	3	4	0	4	3	2	17
宇商	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5